

## 第3章

# 施策1 基本事業1

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	5月 月	13日 日
事務事業名	妊活医療費助成事業				事業類型	扶助費			
担当部課G等	保健福祉部 健康推進課			母子保健G	記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり				■ 實施計画 ■ 対象事業			
	施策名	1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える							
	基本事業名	1 妊産婦支援の充実							
予算科目	一般会計	款 04	項 01	目 02	事業名 妊活医療費助成事業	根拠法令	少子化社会対策基本法 茨城県不妊治療費		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			

### 事業概要

#### 【全体概要】

不妊や不育症に悩む夫婦に対し、生殖補助医療と併用して行われる先進医療に要する費用の一部および不育症の検査・治療に要する医療保険適用外の費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、少子化対策の充実に寄与する。

#### 【業務内容】

- ・不妊、不育症治療費助成事業の周知
- ・申請受理及び交付の決定、助成金の支払い
- ・助成対象者の名簿管理

### 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)					
市の不妊治療費補助金申請をした市民(夫婦)				不妊治療費補助金申請者数(延)	人	2.	65.	48.	48.
						0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
不妊治療費(医療保険適用外)の一部を助成する。				不妊治療費補助金交付者数(実)	人	2.	27.	12.	12.
				不妊治療費補助金交付者数(延)	人	2.	65.	48.	48.
						0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					
不妊治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減することにより、安心して治療を受けて出産につなげもらう。				不妊治療費補助金交付率(実)	%	100.	100.	100.	100.
				交付者で妊娠した者	人	1.	14.	10.	10.
				妊娠した者で出産した者	人	1.	8.	10.	10.
						0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費	
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	960	960	960	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	134	3,542	2,890	2,890	2,890	0	
	事業費計(A)	千円	134	3,542	3,850	3,850	3,850	0	
人件費計(B)	千円	1,410	0.20人	2,160	0.80人	2,160	0.80人	2,160	0.80人
投入量(A)+(B)	千円	1,544		5,702		6,010		6,010	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ			平成16年度から茨城県での不妊治療費助成が開始されたことに伴い、平成24年度から市の助成を開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			令和4年度から、不妊治療における基本的な治療が医療保険適用となったものの、先進医療技術の進歩もあり、医療保険適用外の先進医療を取り入れた治療を受けるかたが増えている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			市独自の不妊治療費助成事業を開始してくれてとても助かっている。						

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 令和6年度より市独自不妊治療費助成事業を開始。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費 3,408千円) (人件費 750千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 医療保険適用外の不妊治療費は、経済的負担が大きく費用の一部助成は妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●一部の対象者に限定されてしまいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市独自の不妊治療費助成事業を開始したことにより、不妊治療を開始しやすくなり、妊娠出産にもつながりやすくなっている。 しかしながら、治療の有効性の観点から、年齢に応じた回数の制限等の規定を設ける等改善の余地はある。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものがありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない □統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民からの要望も多く、事業の効果も得られていることから廃止、休止の可能性は低い。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない □事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費の多くが扶助費であり削減は難しい。人件費においても、他事業との兼務により必要最低限の人数で対応していることから削減の余地はない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない □見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 医療保険適用外不妊治療費の経済的負担軽減を目的とする事業であり、対象者の負担割合の適正化はできている。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載				
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> ■ 繼続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> □ 公平性の改善 <input type="checkbox"/> □ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	■ 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 妊娠を望む夫婦に対し、限りある財源を有効に活用してもらうため、助成回数の規定を設ける。 治療開始時の妻の年齢 40歳未満 1子につき 6回 40歳から43歳未満 1子につき 3回		改革・改善による期待成果				
<input type="checkbox"/> 削減		コスト				
<input type="checkbox"/> 向上		削減				
<input type="checkbox"/> 維持		維持				
<input type="checkbox"/> 低下		増加				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載				
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	<input checked="" type="checkbox"/> ■ 繼続	( <input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 )
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)						
自治体の予算には限りがあり、より多くの方に公平に助成金を活用してもらうためには、助成回数に上限を設ける必要がある。						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))						
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> □ 繼続	( <input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 )
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)						
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> □ 繼続	( <input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 )

## 第3章

施策1 基本事業2

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	5月 月	29日 日	
事務事業名	学童保育事業				事業類型	事業の推進				
担当部課G等	保健福祉部 こども課		子育て支援グループ		記入者氏名					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり							■ 実施計画 対象事業
	施策名		1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える							
	基本事業名		2 子育てと就労の両立支援							
予算科目	一般会計	款 03	項 02	目 01	事業名 学童保育事業	根拠法令	那珂市放課後学童保育対策事業条例			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
事業概要	<p><b>【全体概要】</b>            就労等により、保護者のいない小学校に通う児童の放課後等における、安全確保と育成指導のために遊びを中心とする保育を行う。  <b>実施場所:</b>横堀、額田、菅谷、菅谷東、菅谷西、五台、芳野、木崎、瓜連の各学童保育所            及び民間学童保育所(7事業者)</p>									
	<p><b>【業務内容】</b>  <b>こども課で行う業務</b>            ・運営委託に関する業務(契約、支給、精算事務)            ・運営補助に関する業務            ・民間事業者に対する指導監査</p>									

## 1 現状把握の部(DOシート)

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 (前回評価結果を踏まえて見直した内容) 令和6年10月より民間委託したことにより、支援員が確保でき、適正な人員配置につながった。また登園管理システムを導入し、今まで開所時間にしか繋がらなかった出欠連絡においても、アプリから可能となったことにより保護者負担の軽減に繋がった。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0千円) <input type="checkbox"/> （人件費 0千円） <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費 63,389千円) <input type="checkbox"/> （人件費 0千円） <input type="checkbox"/> 反映なし

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である ニーズが多様化及び増加傾向にある学童保育事業において、入所申込に関する審査基準等の公平性の観点から、平等なサービスを提供するには市の閥与が妥当であり、補助金の交付を受けて運営する民間事業者の適正性を管理する立場から、市の閥与が必要である。
有効性評価	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象者が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれではありませんか？	■余地がない 支援員の確保、利用児童数の増加、多様化する保護者のニーズ、ICT化の整備などの課題について、令和6年10月から運営委託したことにより解消できており、委託前の懸案事項についてはおおむね解決したため成果の向上の余地はない。
効率性評価	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない 放課後の小学生を対象とした類似事業ではなく、共働き世帯の増加、核家族化や地域のつながりの希薄化、ひとり親世帯の増加など様々な理由により子どもを放課後に保育できない家庭が増えている現状で、学童保育の利用ニーズは今後も高い水準を維持することが見込まれるため、廃止・休止の可能性はない。
公平性評価	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない □人件費の削減余地がない ■人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公立学童保育所の民間委託費、毎年増額改定されている民間事業者へ交付している国・県補助金により事業費の削減の余地はない。令和6年10月に委託するまで雇用していた支援員が会計年度任用職員だったため、半年分の人事費についてはさらに削減の余地がある。
公平性評価	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が高い事業の場合、その理由はなんですか？	□適正である □受益者負担を求める事業ではない 民間委託により、入退所管理システムを導入したため、月額6,000円で徴収している現在の保育料について、利用実績に応じた保育料の徴収、多子世帯軽減、長期休業期間中の変動的保育料の検討など、世帯に応じた保育料の徴収について検討する余地はある。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/>目的の再設定  <input type="checkbox"/>公平性の改善  <span style="margin-left: 20px;">□ 有効性の改善    ■ 効率性の改善</span> </div> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 近隣市町村と比較して、那珂市の学童保育料は若干高額で、物価高で家計的にも厳しいという声も世間から聞こえており、一律6,000円を徴収することは、世帯状況が異なる家庭には公平性に欠けており多子世帯の保育料軽減も必要と考える。																									
	改革・改善による期待成果																									
	<table border="1" style="width: 100px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 30px; text-align: center;">成 果</td> <th colspan="3" style="text-align: center;">コス</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">ト</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">削減</th> <th style="text-align: center;">維持</th> <th style="text-align: center;">増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">向 上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">維 持</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">低 下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>	成 果	コス			ト			削減	維持	増加	向 上	○	×	×	×	維 持	×	×	×	×	低 下	×	×	×	×
成 果	コス																									
	ト																									
	削減	維持	増加																							
向 上	○	×																								
	×																									
	×																									
維 持	×	×																								
	×																									
	×																									
低 下	×	×																								
	×																									
	×																									
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 本市の学童保育料は、近隣市町村と比較していくらか高い状況であり、物価高騰のなか家計にも厳しいという声もあることから、多子世帯への負担軽減等について検討する必要がある。																									
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																									
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																									

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	6日 日
事務事業名	民間保育所等児童入所事業				事業類型	事業の推進			
担当部課G等	保健福祉部 こども課		保育グループ		記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名		1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える						
	基本事業名		2 子育てと就労の両立支援						
予算科目	一般会計	款 03	項 02	目 02	事業名 民間保育所等児童入所事業	根拠法令	子ども・子育て支援法		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				

事業概要

【全体概要】

**【保育園】** 市内の民間保育園等及び広域の民間保育園等へ入所している児童の施設型給付費を各施設へ支給する

## II (業務內容)

**【東京都】**  
市内の民間保育園等及び広域の民間保育園  
る児童の施設型給付費を各施設へ支給する

## 1 現状把握の部(DOシート)

(4)前回( )の評価結果に対する改革・改善の取り組み	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 新規評価対象 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持  (見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円  <b>■ 反映なし</b>

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である □ 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国の制度に基づき、市が実施主体として施設に対して運営費を交付するものであり、保育需要や施設の運営状況を的確に把握することが不可欠であるため妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●一部の対象者に限定されてしまいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■ 余地がない □ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国の施設型給付制度に基づくものであり、対象施設・対象児童数に応じた客観的な算定により行われており、現行の運用において安定した保育体制の維持は十分に達成されているため、改善の余地はない。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的対応は可能であると見込まれますか？	■ 統廃合の余地がない ■ 廃止・休止の可能性がない □ 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □ 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国の施設型給付制度に基づくものであり、市が独自に統廃合を判断できるものではない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない ■ 人件費の削減余地がない □ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は国の定める単価に基づいており、削減の余地はない。また、人件費についても必要最小限の事務体制で実施しており、削減の余地はない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■ 適正である □ 受益者負担を求める事業ではない 保育施設の利用に関する受益者負担は、保護者の所得に応じて段階的に設定されており、負担の公平性は確保されている。また、給付費の大部分は公的負担とされており、子育て支援の観点からも現行の負担水準は適正である。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定  <input type="checkbox"/> 公平性の改善           </div>		□ 有効性の改善    □ 効率性の改善																							
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																									
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																							
		<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成 果</th> <th>向 上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維 持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成 果	向 上				維 持		○		低 下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成 果	向 上																								
	維 持		○																						
	低 下		×	×																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )																									
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																									
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																									
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																									

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート					作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	3日 日
事務事業名	民間保育所等支援事業					事業類型	補助金			
担当部課G等	保健福祉部 こども課			保育グループ	記入者氏名					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり					■ 実施計画 ■ 対象事業			
	施策名	1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える								
	基本事業名	2 子育てと就労の両立支援								
予算科目	一般会計	款 03	項 02	目 02	事業名 民間保育所等支援事業	根拠法令	子ども・子育て支援交付金交付要綱、保育対策総合支援事業補助金交付要綱、乳児等保育事業補助金交付要綱			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要										
【全体概要】 民間保育所等の職員の資質の向上・乳幼児の保育業務の充実を図るため、民間保育所等に対して、補助金交付・委託料支払いを行います。						【業務内容】 保育サービスの向上及び保育士の負担軽減を図るために、民間保育所等へ地域子ども・子育て支援交付金等を活用し補助金交付する。また、保育の必要性のある障がい児が利用できるよう、保育士の加配に対する経費を市独自事業で補助金を交付する。				

### 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内民間保育所と施設型給付費を支払っている認定こども園や幼稚園				④対象指標(対象の大きさを表す指標) 市内民間保育所数	箇所	7.	7.	7.	7.	
				施設型給付費支払い対象施設数(保育所除く)	箇所	42.	41.	41.	41.	
②手段(具体的な事務事業のやり方) 一時預かり事業、延長保育、地域子育て支援事業等を展開している民間保育所等に補助金の交付・委託料の支払いをし、保育士の確保・資質向上により、保育業務の充実を図る。				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 対象事業を実施している保育所数	箇所	74.	60.	60.	60.	
				対象事業を実施している施設数	箇所	2.	2.	2.	2.	
						0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 保育士の業務負担を軽減すると共に、充実した保育サービスを提供することで、利用者のニーズに対応できる子育て支援事業の充実を図る。				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度) 補助金を交付した保育所数	箇所	74.	60.	60.	60.	
				委託した施設数	箇所	2.	2.	2.	2.	
						0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内訳	国庫支出金	千円	27,792	27,773	35,607	35,607	35,607	0		
	県支出金	千円	20,542	20,288	29,224	29,224	29,224	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の 一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	22,202	23,157	37,451	37,451	37,451	0		
	人件費計(B)	千円	70,536	71,218	102,282	102,282	102,282	0		
投入量(A)+(B)	千円	75,107	74,705	105,769	105,769	105,769	105,769			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ			民間保育所の職員の資質の向上・乳幼児の保育業務の充実を図るため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			平成27年度から子ども・子育て支援新制度が始まったことにより、市内民間保育所だけではなく幼稚園等へも補助対象が拡大した							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			保育士の業務軽減を図ることと、利用者のニーズに対応した保育が実施できている							

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 保育士の負担軽減となる国や県の補助費の増額や、保育ニーズに即した事業を取り入れいく必要がある。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0千円) <input type="checkbox"/> （人件費 0千円） <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費 1,416千円) <input type="checkbox"/> （人件費 0千円） <input type="checkbox"/> 反映なし

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 保育士に求められる業務は年々増している中で、保育士の負担軽減や保育ニーズに即した事業展開をするため、市が委託や補助をすることは妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 保育士の業務が増し保育士確保が困難のなか、保育の質の向上が求められているため、国や県等の補助事業を活用しながら事業展開をしていく必要がある。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものがありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない 類似事業がないため統廃合の余地はない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない 補助金や委託料のため、事業費や人件費の削減余地はない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 補助事業のため、受益者負担金を求める事業ではない。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/>目的の再設定  <input type="checkbox"/>公平性の改善  <span style="margin-left: 20px;">■ 有効性の改善    <input type="checkbox"/>効率性の改善</span> </div> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 保育士の負担軽減となる国や県の補助費の増額や、様々なニーズに対応した事業を展開することで、保育士を確保することができ、保育環境を向上することができるため、今後も新規事業を取り入れていく必要がある。																							
	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100px; margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成 果</th> <th>向 上</th> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #f0f0f0;">○</td> </tr> <tr> <th>維 持</th> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #f0f0f0;">×</td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #f0f0f0;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成 果	向 上			○	維 持			×	低 下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成 果	向 上			○																				
	維 持			×																				
	低 下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 保育士の負担軽減となる国や県の補助金の活用や、様々なニーズに対応した事業を展開することで、保育士の確保等に繋がり、保育環境の向上が図れるため、今後新規事業等について検討が必要である。																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート							作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	6日 日
事務事業名	保育士就労支援事業							事業類型	補助金			
担当部課G等	保健福祉部 こども課				保育グループ	記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり							■ 實施計画 対象事業		
	施策名		1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える									
	基本事業名		2 子育てと就労の両立支援									
予算科目	一般会計	款 03	項 02	目 02	事業名 保育士就労支援事業	根拠法令						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度~)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (令和3年度~令和8年度)			
事業概要												
【全体概要】 保育士の処遇を改善することで離職者を減らすとともに市内保育施設への就労意向を高めることにより保育士を確保する。また、産休育休時の職員減により受け入れ児童数の停滞をなくす。							【業務内容】 保育士の処遇を改善し保育士を確保することで、保育施設への受け入れを可能とし、市民のニーズに対応する保育所運営ができるようにする。					

### 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内の民間保育所、認定こども園、地域型保育事業所				市内民間保育所等	箇所	11.	11.	11.	11.	
						0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
保育士代替職員の雇用に要する経費に対し、民間保育所等に補助金を交付する				補助件数	件	1.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
産休・育休を取得する保育士の職務を行う代替職員の臨時的雇用を促進し、職員の母体の保護を図りつつ、施設における子どもの養護及び教育を確保する				市内民間保育所等月平均利用児童数(2,3号)	人	1177.	1008.	1008.	1008.	
				年度末入所保留者数	人	45.	51.	51.	51.	
				待機児童数	人	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	8	0	0	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	554	0.12人	636	0.13人	0	0.00人	0	0.00人
投入量(A)+(B)	千円	562		636		0		0		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ			毎年発生する、待機児童及び潜在的待機児童を解消するため、また保育士の就労環境を改善し、保育士の定着を図り保育士不足を解消するため、保育士等アンケートで要望が多かった産休代替補助事業取組むことにした							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			国の待機児童対策によりおおむね解消され、今後保育の質の向上にシフトしつつある。保育士の処遇についても、改善への取り組みがされているが、保育士不足は解消されていない。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			保育施設の適正な人員配置等、指導の徹底が望まれる。							

(4)前回( )の評価結果に対する改革・改善の取り組み	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 新規評価対象 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持

(見直し内容に関する予算への反映)
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円)
(人件費 0 千円)
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円)
(人件費 0 千円)

■ 反映なし

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である 保育士が産休等で欠員になることにより、職員の配置不足や他の保育士への負担、保育環境への影響があるため、緊急の保育士確保は必要である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 産休代替として施設で保育士を採用しているが、補助対象要件に満たないため利用がない。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものがありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない ■ 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似の事業がないため統廃合の余地はない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない ■ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 緊急のために派遣などを利用し、保育士を確保する事業のため削減余地はない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない ■ 受益者負担を求める事業ではない 保育士確保のための補助事業のため、受益者負担金を求める事業ではない。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																	
<input type="checkbox"/> 終了    ■ 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定  <input type="checkbox"/> 公平性の改善  <span style="margin-left: 20px;">□ 有効性の改善    □ 効率性の改善</span> </div> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																		
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 施設側で産休代替の保育士を確保しているが補助対象要件を満たさず利用がないため、令和7年度より事業を廃止する。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100px; margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">成 果</td> <th colspan="3" style="text-align: center;">コス ト</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">削 減</th> <th style="text-align: center;">維 持</th> <th style="text-align: center;">増 加</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">向 上</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維 持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低 下</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>	成 果	コス ト			削 減	維 持	増 加	向 上			維 持			低 下	X	X	X
成 果	コス ト																	
	削 減		維 持	増 加														
	向 上																	
維 持																		
低 下	X	X	X															
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																	
<input type="checkbox"/> 終了    ■ 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 保育施設で産休代替の保育士を確保する際に、補助対象要件を満たす場合に経費の一部を補助するものだが、要件を満たさず利用に至らないため事業を廃止する。																	
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																	
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																	

評価対象年度	令和6年	年度	事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	2日 日	
事務事業名	地域保育活動事業				事業類型	学習環境整備					
担当部課G等	保健福祉部 菅谷保育所			菅谷保育所	記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり									■ 実施計画 対象事業
	施策名	1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える									
	基本事業名	2 子育てと就労の両立支援									
予算科目	一般会計	款 03	項 02	目 03	事業名 地域保育活動事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)								<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
事業概要											
<b>【全体概要】</b> 保育所の持てる機能を活用し、地域の高齢者や保育所修了生との交流を図る。また、中学生・高校生の保育体験を通じ乳幼児と関わりを持つなかで、優しさを感じることを目的とする。						<b>【業務内容】</b> 地域の高齢者や保育所修了生との交流 中学生の保育体験 高校生・大学生のボランティア・インターンシップの受け入れ					

### 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
<b>①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</b> 修了生(小学1年生) 市内中学生				修了生	人	37.	37.	37.	36.	37.
				市内中学生	人	1260.	1259.	1250.	1250.	1250.
<b>②手段(具体的な事務事業のやり方)</b> 世代間交流 修了生(小学1年生)との交流				世代間交流会	回	6.	4.	4.	4.	4.
				修了生との交流会	回	3.	2.	2.	2.	2.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
<b>③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</b> 地域の人々とのかかわり 人間関係の育成				世代間交流(延べ人数)	人	23.	4.	40.	40.	40.
				修了生との交流(延べ人数)	人	129.	48.	74.	72.	74.
				中学・高校・大学生との交流(延べ人数)	人	98.	150.	140.	140.	140.
						0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	237	206	224	231	231	0		
	人件費計(B)	千円	423	0.19人	360	0.11人	360	0.11人	360	0.11人
投入量(A)+(B)	千円	660	566	584	591	591				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
<b>①事業を始めたきっかけ</b>			様々な人々と親しみをもってかかわることができるよう、保育所の機能を活用し、地域の高齢者や修了生との交流を図る。							
<b>②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか？開始時期と比べてどう変わりましたか？)</b>			世代間交流の会員者が事業を始めたころに比べ、働いている方が多いため、世代間の会員募集をおこなっているが年々会員数が減ってきてている。							
<b>③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)</b>			世代間会員より、おさな子とかかわることによって、元気をもらって帰ることができるとの声が聞かれる。							

(4)前回( )の評価結果に対する改革・改善の取り組み	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 新規評価対象 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持  (見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円  <b>■ 反映なし</b>

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である いろいろな世代の人たちとかかわることによって、子どもたちの人間関係を育成できるため、市が関与るのは妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象者が一部の対象者に限定されてしまいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ・中高生に対しては、今後も保育の場を提供していく。 ・社会福祉協議会と連携をとり周知し、多くのボランティアを募る。 ・世代間交流の課題として、対象者が働いている方が多いため、年々会員数が減ってきている。そのため、今後世代間交流の内容の見直しが必要である。
有効性評価	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない 世代間交流事業では、働く高齢者の増加により会員が集まらなければ見直しの必要がある。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない 人件費においては、必要最低限の人数で実施しているため、削減の余地はない。 世代間交流事業を見直すことで、事業費の削減につながる。
公平性評価	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が高い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 必要に応じて、自己負担を徴収しているため、適切なものと考える。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → [ <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 ] <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 地域活動の世代間交流は、広報なかやSNS・保護者をとおして周知したが今年度は参加者が2名だった。これ以上人数が増えなかった場合見直す必要がある。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>	成 果	コスト			削減	維持	増加	向上	○	×	維持	○	×	低下	×	×	×
成 果	コスト																		
	削減	維持		増加															
	向上	○	×																
維持	○	×																	
低下	×	×	×																
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 地域活動の世代間交流は、子どもにとって豊かな心や思いやりの心を育むことに繋がる事業だが、参加人数が少ない状況が続けば見直しの検討が必要となる。																		
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																		
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																		

## 第3章

# 施策1 基本事業3

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート				作成日	令和7年5月29日				
点検日						点検日	年月日				
事務事業名	ファミリーサポートセンター事業				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	保健福祉部 こども課		子育て支援グループ		記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり					■ 実施計画 対象事業			
	施策名		1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える								
	基本事業名		3 子育て支援体制の充実								
予算科目	一般会計	款 03	項 02	目 01	事業名 ファミリーサポートセンター事業	根拠法令	なかファミリーサポートセンター設置事業実施要綱				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要											
<b>【全体概要】</b> 地域において、育児や介護の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児や介護について相互援助活動を行う会員組織の設立を支援すると共に、その環境を整備することにより、地域における子育てを推進する。					<b>【業務内容】</b> 那珂市社会福祉協議会へ業務を委託する。						
<b>1 現状把握の部(DOシート)</b>											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
<b>①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</b> 援助してほしい人及び援助したい人。			<b>④対象指標(対象の大きさを表す指標)</b> 援助を必要とされた回数(子ども) 援助を必要とされた回数(高齢者・障がい者)			回	227.	193.	200.	200.	200.
<b>②手段(具体的な事務事業のやり方)</b> 子育てや育児等の援助をしてほしい人と、援助したい人の相互援助活動を円滑に実施するため、仲介業務及び登録事務等を行う。			<b>⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b> 依頼会員数 提供会員数 兩方会員数			人	350.	320.	350.	350.	350.
<b>③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</b> 地域の人々の協力を得ながら子育て力を高め、安心して子どもを産み育てられる環境を整える。			<b>⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</b> 希望に対応できた回数 不安なく子どもを育てられていていると感じる保護者の割合			回	680.	543.	600.	600.	600.
						%	59.56	61.71	54.	57.	60.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費			
事業費 内訳	国庫支出金	千円	527	574	597	597	597	0			
	県支出金	千円	527	574	597	597	597	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	528	574	597	597	597	0			
	事業費計(A)	千円	1,582	1,722	1,791	1,791	1,791	0			
人件費計(B)	千円	371	0.05人	515	0.07人	515	0.07人	515	0.07人		
投入量(A)+(B)	千円	1,953		2,237		2,306		2,306			
<b>(3)事務事業の環境変化・市民意見等</b>											
<b>①事業を始めたきっかけ</b>			平成17年度より、国の次世代育成支援対策交付金の補助を受け、子育て支援として実施。								
<b>②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか？開始時期と比べてどう変わりましたか？)</b>			・開始時期に比較すると、認知度は上がってきている。 ・利用件数は年度によって増減を繰り返しており、新型コロナウイルス前の水準には至っていない。								
<b>③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)</b>			利用希望者からは、車での送迎希望が継続してあるが、提供会員は60代から70代前半で構成されており、「送迎はできない」と提供会員からの声があるほか、事業者からも「安全管理上できない」との回答を受けている。								

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） ■反映なし

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 国、県の補助事業であり、地域での会員による相互援助活動を市が支援るのは妥当であり、公共性の高い事業である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●成果が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■余地がない 会員は、微増・微減を繰り返しており、安定しない会員数となっている。利用回数についても、年度ごとに増減を繰り返しており、新型コロナウイルス前の水準には至っていない。子どもの利用回数減少の理由としては、教育・保育施設、学童保育所などの子どもの預け先の充実により減少したとのと考える。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているのはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない 令和5年度の県内市町村における同事業の実施率は91%となっており、特に隣接市町村は全ての市町村で実施している。類似事業もないことから、利用会員に影響が出ると考えられ、廃止・休止の可能性はない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない 委託事業として、社協が実施しており、事業費は会員同士の利用調整をする職員の人件費が主であり、その他研修や広報活動費等の経費となっているため、削減の余地はない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■適正である □受益者負担を求める事業ではない 利用者負担金(1時間600円)に関しては、県内の市町村(1時間600円～1,000円)と比較しても適正である。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 ■継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → [ <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 ]			※担当課長、グループ長、担当者が記載																			
■現状維持(現状通りで特に改革改善はない)			改革・改善による期待成果																			
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th colspan="3">コス ト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成 果	コス ト			削減	維持	増加	向 上				維 持		○		低 下	×	×	×
成 果	コス ト																					
	削減	維持	増加																			
向 上																						
維 持		○																				
低 下	×	×	×																			
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合    ■継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し    ■現状維持 )																						
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	令和6 年度		事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	4日 日	
事務事業名	こども家庭センター運営事業				事業類型	相談業務					
担当部課G等	保健福祉部 こども課			こども家庭センター	記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり				■ 實施計画 対象事業				
	施策名		1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える								
	基本事業名		3 子育て支援体制の充実								
予算科目	一般会計	款 03	項 02	目 01	事業名 こども家庭センター運営事業	根拠法令	児童福祉法				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				

### 事業概要

#### 【全体概要】

児童福祉法等の一部を改正する法律(令和4年法律第66号)により、子育て世代包括支援センター(母子保健)と子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関「こども家庭センター」の設置に努めることとされたため、令和6年4月よりこども課内にこども家庭センターを設置し、母子保健・児童福祉が一体となった相談支援を実施する。

#### 【業務内容】

全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、母子保健・児童福祉の両機能の一体化的な運営を通じて切れ目や漏れのない相談支援を実施する。

### 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 那珂市在住の妊産婦、子ども及び子どもに関わるかた				④対象指標(対象の大きさを表す指標) 那珂市民(常住人口)	人	0.	52365.	52500.	52300.	52000.
						0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方) 電話、家庭訪問、窓口への来所による相談に対し、個々の課題やニーズに応じた支援ができるよう、必要に応じ関係機関と連携した対応を行う。				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 母子保健相談件数	件	0.	1700.	1700.	1700.	1700.
				児童福祉相談件数	件	0.	1788.	1790.	1790.	1790.
					件	0.	0.	0.	0.	0.
					件	0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 妊娠期から子育て期において、安心して子育てできていると感じる市民が増える。				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度) 安心して子供を育てられていると感じている市民の割合	%	0.	61.71	54.	57.	60.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	17,173	18,755	18,842	18,842	0		
	県支出金	千円	0	4,785	5,364	4,922	4,922	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の 一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	0	4,137	5,971	6,679	6,679	0		
	人件費計(B)	千円	0	26,095	30,090	30,443	30,443	0		
投入量(A)+(B)	千円	0	38,072	42,067	42,420	42,420	0			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ			「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」の機能を維持し、全ての妊産婦・子育て世帯、子どもへ一体的に支援を行う機能を有する「こども家庭センター」の設置が努力義務化されたため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか？開始時期と比べてどう変わりましたか？)			全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへの切れ目なく一体的・包括的な相談支援等を行うことが期待されている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)			母子保健と児童福祉の業務は、同一の場所で実施することが望ましい。							

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 令和6年4月に「こども家庭センター」を設置し、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへの切れ目なく一貫的・包括的な支援体制を整備した。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <b>■反映なし</b>

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市町村との妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 令和4年6月に成立した改正児童福祉法により、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を実施するため、市区町村はこども家庭センターの設置に努めることとされている。本市においては、令和6年4月に設置し当事業を行っているものであり妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象者が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれではありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行うため、運営上、母子保健と児童福祉の機能を一体化したが、2拠点での実施であるため、ケースの記録管理などを行う福祉相談支援システムの活用を促すことで、情報伝達がより円滑になると考えられる。
有効性評価	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない ■統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 従来の「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」を「こども家庭センター」として統合し、両機能を維持・強化した事業となっている。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない ■事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) こども家庭センターの機能を維持するために必要な人材の配置と事業費の計上であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 法律に基づいた事業であり、受益者負担を求めるものではない。
	3 計画の部(PLAN)	

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/>目的の再設定  <input type="checkbox"/>公平性の改善  <span style="margin-left: 20px;">■有効性の改善    <input type="checkbox"/>効率性の改善</span> </div> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																		
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 福祉相談支援システムの活用を促すことで、2拠点の情報伝達の円滑化、事業の強化を図る。	改革・改善による期待成果																	
	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	コスト				削減	維持	増加	成 果	向上	○		維持		×	低下	×	×
コスト																		
	削減	維持	増加															
成 果	向上	○																
	維持		×															
	低下	×	×															
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 福祉相談支援システムの活用を促すことで、2拠点の情報伝達の円滑化、事業の強化を図る。																	
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																		
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																		

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート				作成日	令和7年	5月	16日		
点検日						点検日	年	月	日		
事務事業名	子育て支援センター事業				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	地域子育て支援センター			地域子育て支援センター	記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり						■ 実施計画 対象事業		
	施策名		1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える								
	基本事業名		3 子育て支援体制の充実								
予算科目	一般会計	款 03	項 02	目 03	事業名 子育て支援センター事業	根拠法令	那珂市地域子育て支援センター設置及び管理に関する条例				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)						
事業概要											
<b>【全体概要】</b> 未就学児とその保護者を対象として、地域における子育て支援対策を関係機関と連携し、総合的に実施する。					<b>【業務内容】</b> ・あそびの広場 ・育児相談及び育児講座 ・子育てフェスタ・つぼみマーケット ・ママ講座(ボランティア) ・子育てサークル支援 など						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
<b>①対象</b> (誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内在住の未就学児とその保護者			<b>④対象指標</b> (対象の大きさを表す指標) 市内の未就学児								
			人	2098.	1972.	1889.	1832.	1810.			
				0.	0.	0.	0.	0.			
<b>②手段</b> (具体的な事務事業のやり方) あそびの広場(つぼみ土曜広場・父と子の広場合む) 育児相談・親支援各種講座・子育てフェスタ・つぼみマーケットの実施。 一時預かり事業・子育てサークル支援事業を実施。フレンドリー保育についてはR5で事業終了			<b>⑤活動指標</b> (事務事業の活動量を表す指標) 支援センター「つぼみ」開館日数 育児サロン回数 育児講座数								
			日	291.	290.	291.	291.	291.			
			回	36.	36.	36.	36.	36.			
			講座	4.	3.	3.	3.	3.			
				0.	0.	0.	0.	0.			
<b>③意図する成果</b> (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 健やかに子育てができる環境を整えることで、安心して子どもを産み充実した子育てにのぞめる。 親子で楽しく集う場を提供することで、地域の仲間づくりができる。			<b>⑥成果指標</b> (対象における意図された対象の程度) 来所者延人数 育児サロン延人数 安心して子どもを育てられていると感じる保護者の割合 各種講座参加延人数								
			人	8294.	9118.	9200.	9300.	9300.			
			人	757.	887.	900.	900.	900.			
			%	59.6	61.7	54.	57.	60.			
			人	186.	233.	240.	250.	250.			
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費			
事業費 内訳	国庫支出金	千円	3,397	3,436	3,435	3,435	3,435	0			
	県支出金	千円	3,397	3,436	3,435	3,435	3,435	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	67	51	57	57	57	0			
	一般財源	千円	8,790	9,512	11,439	11,439	11,439	0			
	事業費計(A)	千円	15,651	16,435	18,366	18,366	18,366	0			
人件費計(B)	千円	20,224	5,00人	22,200	5,00人	22,200	5,00人	22,200	5,00人		
投入量(A)+(B)	千円	35,875		38,635	40,566	40,566		40,566			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
<b>①事業を始めたきっかけ</b> 少子化・核家族化により、子ども同士・親同士の触れ合う場が少なくなり、育児不安になる保護者・母親への子育ての支援をするため。											
<b>②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか？ 開始時期と比べてどう変わりましたか？)</b> 対象となる乳幼児数は、全体的に緩やかに減少傾向である。子ども・子育て支援法に基づく地域子育て支援拠点事業の位置付けにより、子育て支援センター事業の重要性は増加している。											
<b>③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)</b> 年1回利用者を対象としたアンケートの実施 ・先生方がいつも話をしてくれたり、子どもと遊んでくれたりするのでありがたいです。 ・各種講座の充実。講座定員数の拡大。											

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 要望が少ない事業(フレンドリー保育)の廃止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持

(見直し内容に関する予算への反映)	
■ 削減 (事業費)	60 千円
(人件費)	1,357 千円
□ 増加 (事業費)	0 千円
(人件費)	0 千円
□ 反映なし	

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥関との妥当性	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地域子育て支援拠点事業に位置付けられ、楽しく子育てができる場や情報を提供し、子育ての不安や悩みの解消・軽減を図るなど、本事業を展開していくことは、安心して子どもを産み、健やかに育てられる環境を整えるという施策につながる。
	②成果の向上余地	■ 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民への事業案内を広く知らせるために、早めに計画をし、他機関と連携を密にしながら積極的な広報活動をしている。実施した行事内容を月1回ホームページに掲載し、周知している。また、内容等の検討、充実を図ることで利用促進につなげている。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 子育てに関する親同士が悩みを相談する機会や場所を提供することは、楽しい子育てにつながるとともに、子育ての不安解消の一助となっているため、廃止すべきではない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんでしたか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 利用者アンケートを年1回実施し、市民からの要望を把握している。講座の定員人数の拡大を取り入れるなど、随時要望に応えられるよう見直しをしていく。
	⑤受益者負担の適正余地	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 重層的支援体制整備事業として、国、県から補助金を受けて実施している事業であるが、個人が選択して参加する事業においては、必要に応じて自己負担を設けているため、適切なものと考える。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → [ <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																			
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) -利用者に年1回アンケートを実施し、事業内容の改善 -近隣市町村の子育て支援センターとの連携を図り、事業や環境構成の見直し -市内関係施設に改訂したパンフレットを依頼し、広報の充実 -子育てフェスタや、つぼみマーケット等のイベントは、ポスターを依頼し、集客の確保		改革・改善による期待成果																		
		<table border="1"> <tr> <td></td><td colspan="3">コスト</td></tr> <tr> <td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td><td>向上</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>低下</td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成 果	向上			維持	○		低下	×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成 果	向上																			
	維持	○																		
	低下	×	×																	
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																		
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																				
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																				

評価対象年度	令和6 年度		事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	5月 月	7日 日	
事務事業名	こども発達相談センター運営事業				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	こども発達相談センター			発達相談G	記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり				■ 実施計画 対象事業				
	施策名		1 安心して子どもを産み育てられる環境を整える								
	基本事業名		3 子育て支援体制の充実								
予算科目	一般会計	款 03	項 02	目 04	事業名 こども発達相談センター運営事業	根拠法令	発達障害者支援法、施行令、施行規則				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ (開始年度)				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					

### 事業概要

#### 【全体概要】

保健・福祉・医療及び教育機関との連携を図り、心身の発達に遅れあるいは疑いのある乳幼児及びその保護者、関係者に対して相談・教室等の利用を通して、小学校就学前までの適切な支援をする。  
なお、電話相談については、18歳未満の子を持つ保護者も利用ができる。

#### 【業務内容】

- ①相談事業・電話相談・来所相談
- ②親子教室等事業・集団親子教室・個別親子教室・ポーテージ相談・作業療法士による個別指導
- ③施設支援事業・巡回発達相談
- ④研修会等の実施・就学の流れ説明会・発達支援研修会・子育て研修会・指導員研修・子どものほめ方講座

### 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 発達に遅れがある、又はその疑いがあることが危惧される市内に在住する18歳未満の子及び保護者並びに関係者及び施設等				④対象指標(対象の大きさを表す指標) 利用者数	人	247.	239.	250.	250.	250.
						0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方) ・電話相談、来所相談の実施 ・集団親子教室、個別親子教室の実施 ・ポーテージ相談の実施 ・作業療法指導の実施 ・巡回発達相談の実施 ・研修、講演会等の実施				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 相談件数	件	525.	509.	550.	550.	550.
				親子教室等の利用人数	人	2591.	2668.	2800.	2800.	2800.
				巡回発達相談施設訪問回数	回	120.	123.	130.	130.	130.
				研修、講演会等開催回数	回	8.	9.	9.	9.	9.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 相談や教室等を利用することにより、障がいの有無にかかわらず、保護者が安心して子育てができるようになる。				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度) 利用者の子育てに関する不安が軽減した割合	%	97.	90.	95.	95.	95.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の一般財源	千円	2	2	0	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	1,404	1,925	2,497	2,477	2,367	0		
	人件費計(B)	千円	43,800	11,00人	48,220	11,00人	48,220	11,00人	48,220	11,00人
投入量(A)+(B)	千円	45,206		50,147		50,717		50,697		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ			発達が気になる子ども、子育てに不安を抱える保護者のための相談等の総合的な窓口の設置について市民から要望が寄せられ、相談・療育指導等の中心的な役割を担う機関が必要となった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			年々出生数及び対象となる児童数は減少しているが、利用者については相談件数・療育教室ともほぼ横這いとなっており、事業の必要性は年々高まってきてている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			発達の悩みについて総合的に相談等ができるようになり不安が軽減された。個別での対応のため相談がしやすい。主に療育対象となる未就園児・就園児を持つ保護者への認知度はかなり浸透した。							

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） ■反映なし

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市町村との妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 少子化は着実に進行しているが、こどもの発達に不安を抱える保護者や発達の遅れのあるこどもの割合は増加傾向であり、様々な相談の解決に向け、保健・福祉部門や、就学に向けて教育委員会など多岐に渡る連携に重要な役割を担っている。民間事業者(有料)は存在するが、当施設のように無料で気軽に相談でき、福祉サービスや就学につながる多岐の連携は難しい。	□見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっているですか？●成果が一部の対象者に限定されてしまいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■余地がない 出生数は減少となっているが、年間利用者数は横ばいとなっており、対象年齢児全體に占める割合は増加傾向となっている。保護者にも事業が浸透し、気軽に相談できる子育ての相談窓口として認知されている。低年齢児の保育園や幼稚園への就園が早まっていているが、それに対応した指導教室のリニューアルや各施設(園)等との情報共有により療育支援の充実に務めている。	□余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
有効性評価	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものがありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない 市の事業で、相談と併せて療育支援を実施する類似の事業はなし。核家族化の進展や発達障害に対する関心の高まりもあり、こどもの発達に関する相談窓口として、その需要は高まっている。ソフト面での子育て支援の重要な一翼を担っている。	□統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできますか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業的にすぐわないと出されませんか？	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない 事業費の大部分は人件費であり、11名の職員のうち正職員は3名で、他は保育士、心理士、専門職員の会計年度職員等となっている。作業療法士、言語聴覚士など一部の相談事業については民間への委託を行っているが、通常の療育・相談については、マンパワーが必要であり、現在の状況を鑑みると職員の削減は困難である。	□事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
公平性評価	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■適正である ■受益者負担を求める事業ではない こどもの発達に不安を抱える保護者の相談窓口として、誰でも気軽に利用できる公的機関であり、受益者負担を求める事業ではない。仮に、利用者負担を徴収した場合、利用するハードルが上がり、利用者が敬遠する懸念がある。	□見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	3 計画の部(PLAN)	※担当課長、グループ長、担当者が記載	

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <span>□ 目的の再設定</span> <span>□ 公平性の改善</span> <span>□ 有効性の改善</span> <span>□ 効率性の改善</span> </div> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																				
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果																			
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th colspan="3">コス ト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td>X</td> <td>X</td> <td>X</td> </tr> </tbody> </table>		成 果	コス ト			削減	維持	増加	向 上				維 持			○	低 下	X	X	X
成 果	コス ト																			
	削減	維持	増加																	
向 上																				
維 持			○																	
低 下	X	X	X																	
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																			
改革・改善による期待成果																				
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																				
改革・改善による期待成果																				
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																				
改革・改善による期待成果																				